

照会先：

医政局医事課医師臨床研修推進室

課長補佐 井内

専門官 村重

電話 03-5253-1111

内線 2563、4124

「臨床研修に関する調査」報告 のポイント

平成 18 年 8 月 31 日

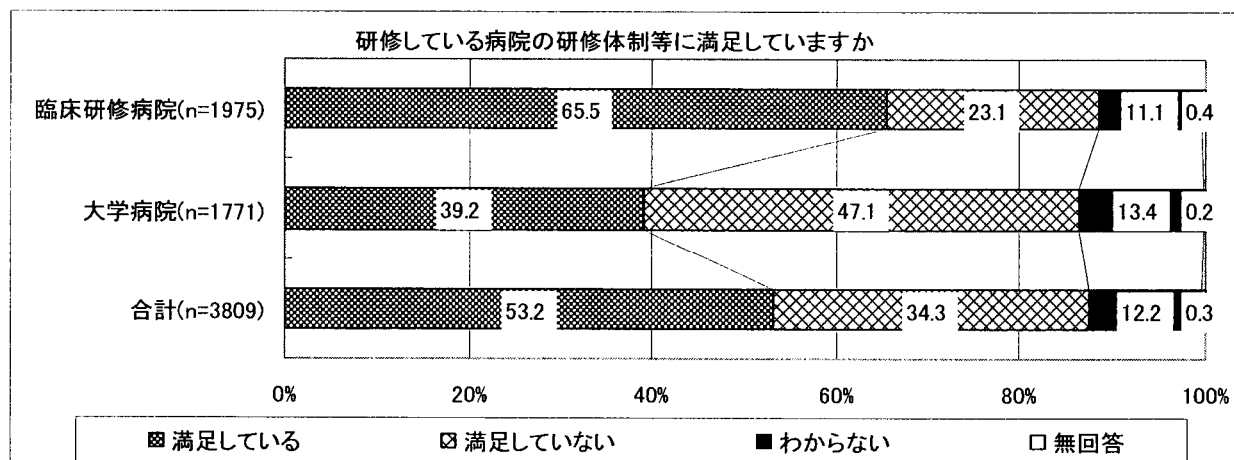
< 2 年次研修医への調査より >

1. 臨床研修体制・プログラムについて

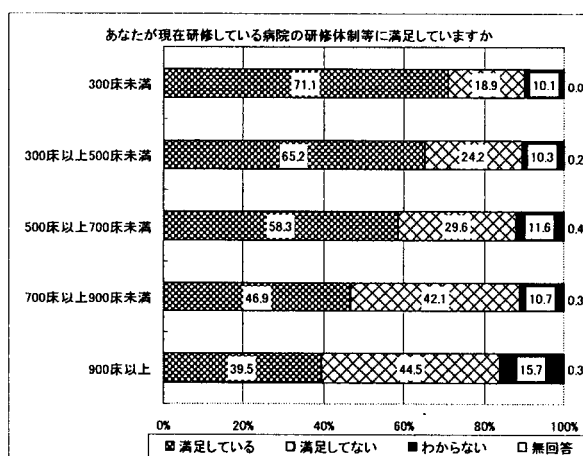
(1) 研修体制についての研修医の満足度は、大学病院より臨床研修病院において高く、また、病床規模が小さい病院ほど高い。

昨年度（1 年次研修医）の満足度と比較すると、臨床研修病院では満足している者が 11.0 ポイント増加、満足していない者が 0.7 ポイント減少しているが、大学病院では満足している者、満足していない者ともに 4 ポイント程度増加している。

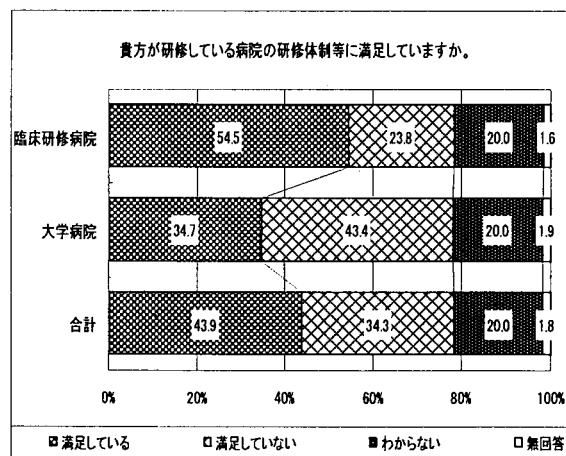
●平成 17 年度 研修体制についての満足度（臨床研修病院 / 大学病院）



●平成 17 年度（病床規模別） 研修体制についての満足度



●平成 16 年度（臨床研修病院/大学病院） 研修体制についての満足度

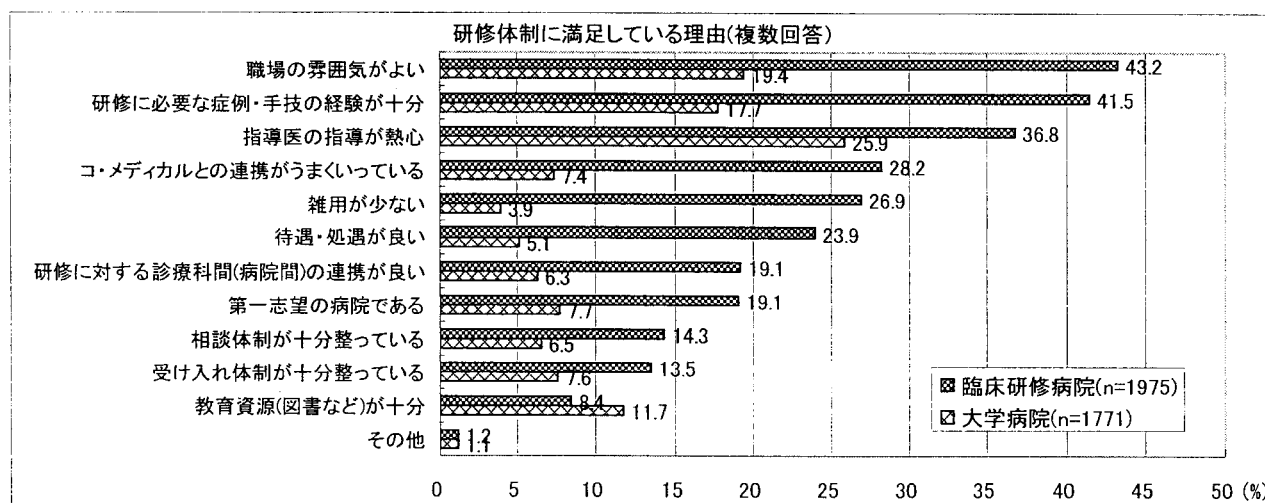


(2) 研修体制に満足している理由、満足していない理由

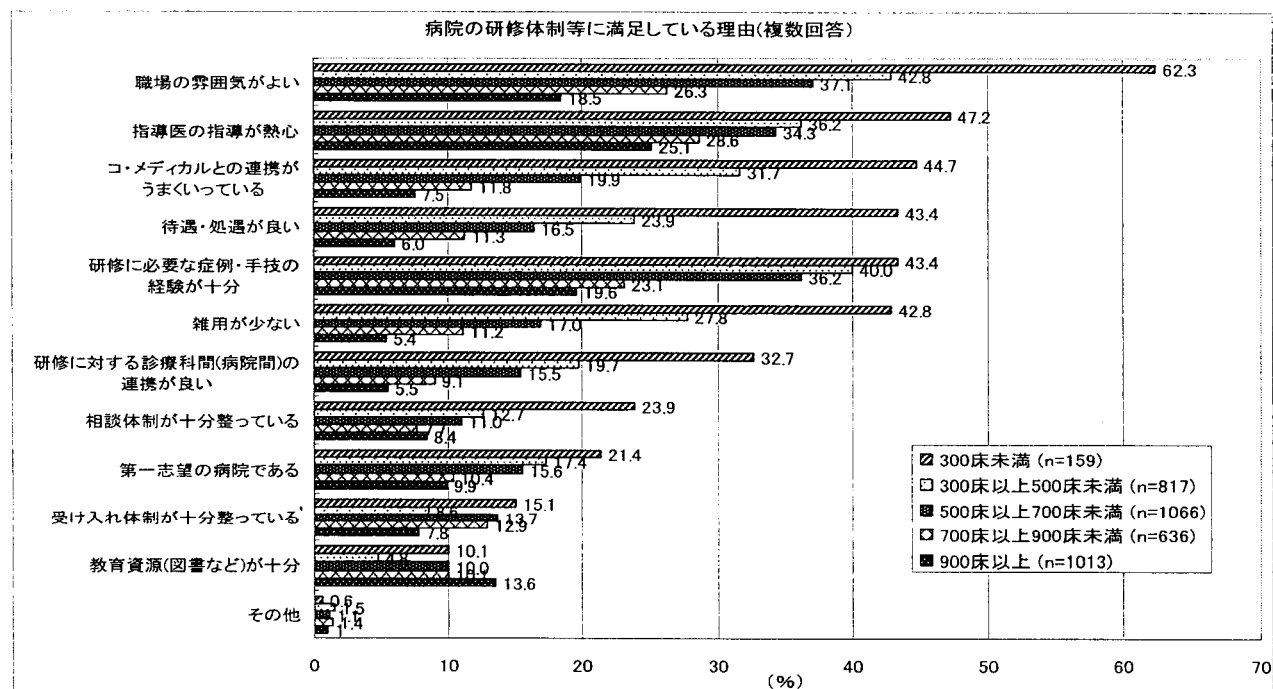
1) 研修体制に満足している理由としては、臨床研修病院においては「職場の雰囲気がよい」(43.2%)、「研修に必要な症例・手技の経験が十分」(41.5%)、大学病院においては「指導医の指導が熱心」(25.9%)等が多い。また、300床未満の病院において「職場の雰囲気がよい」等の理由が挙げられている。

(なお、本データは、「満足した」と回答した研修医がそれぞれ選択した項目の数を分子とし、臨床研修病院、大学病院それぞれのアンケートに回答した研修医数を分母として計算している。今後の「満足している理由」「満足していない理由」は同様の計算法を行っている。)

●平成17年度 研修体制に満足している理由 (臨床研修病院 / 大学病院)

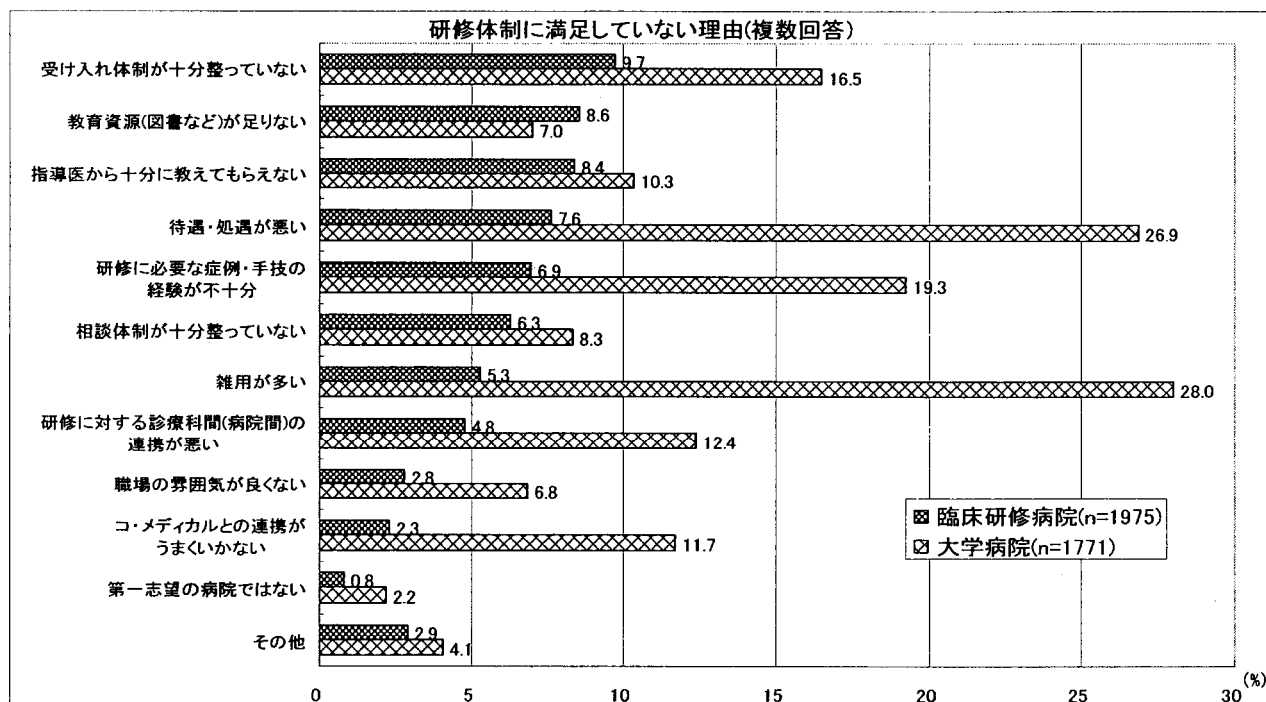


●平成17年度 研修体制に満足している理由 (病床規模別)

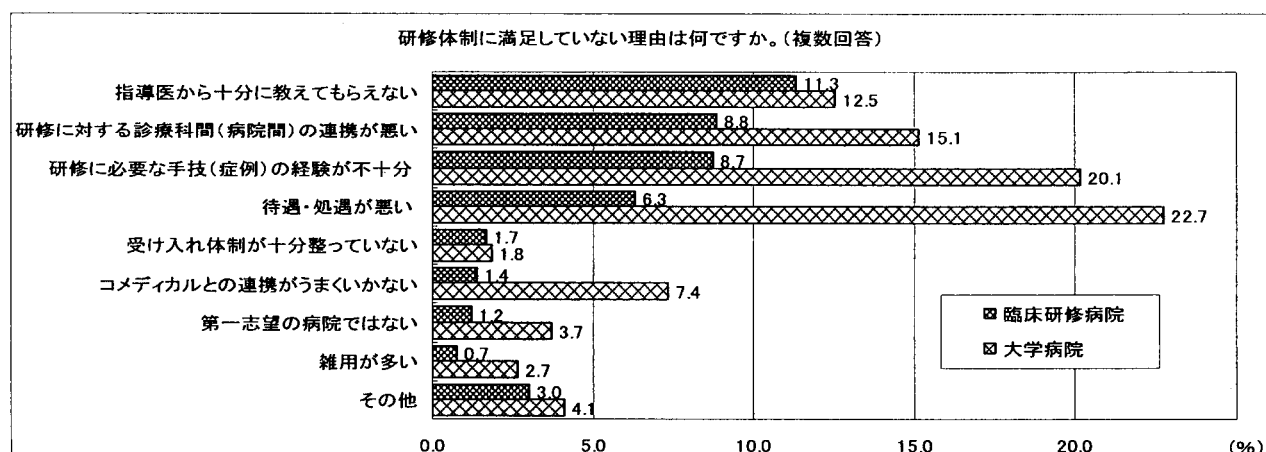


2) 研修体制に満足していない理由は、臨床研修病院においては「受け入れ体制が十分整っていない」(9.7%)、大学病院においては「雑用が多い」(28.0%)、「待遇・処遇が悪い」(26.9%) 等が多い。また、昨年(1 年次研修医)の満足していない理由と比べ、特に「受け入れ体制が十分整っていない」、「雑用が多い」が大きく増加している。

●平成 17 年度 研修体制に満足していない理由 (臨床研修病院 / 大学病院)



●平成 16 年度研修体制に満足していない理由 (臨床研修病院/大学病院)



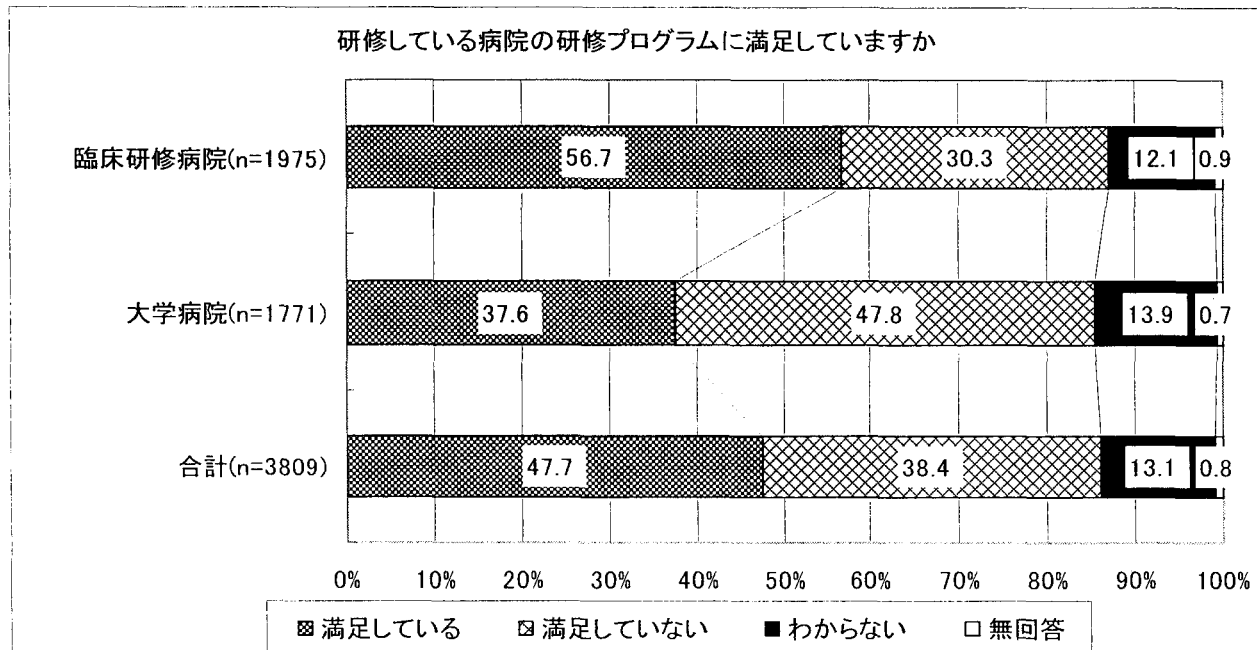
●研修体制に満足していない理由 (平成 16 年度/平成 17 年度比較)

		平成 16 年度	平成 17 年度
受け入れ体制が十分整っていない	臨床研修病院	1.7%	9.7%
	大学病院	1.8%	16.5%
雑用が多い	臨床研修病院	0.7%	5.3%
	大学病院	2.7%	28.0%

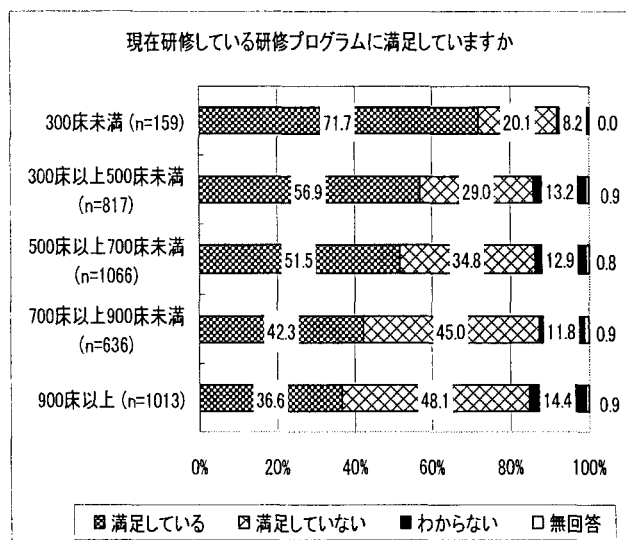
(3) 研修プログラムについての研修医の満足度は、大学病院より臨床研修病院において高く、また、病床規模が小さい病院ほど高い。

昨年度（1年次研修医）の満足度と比較すると、臨床研修病院では満足している者が6.5ポイント、満足していない者が1.2ポイント、大学病院では満足している者が3.1ポイント、満足していない者は4.7ポイント増加している。

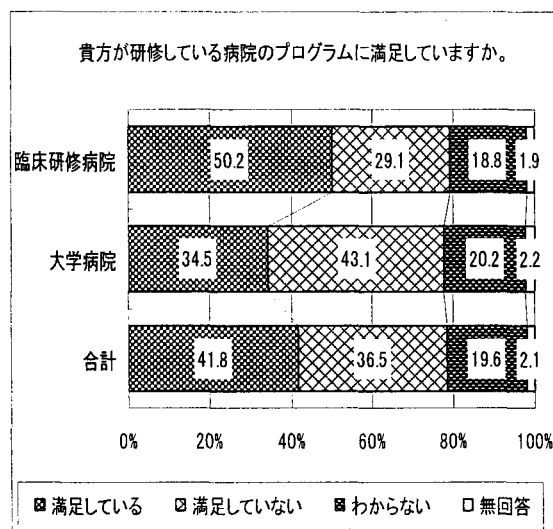
●平成17年度 研修プログラムについての満足度（臨床研修病院 / 大学病院）



●平成17年度（病床規模別）
研修プログラムについての満足度



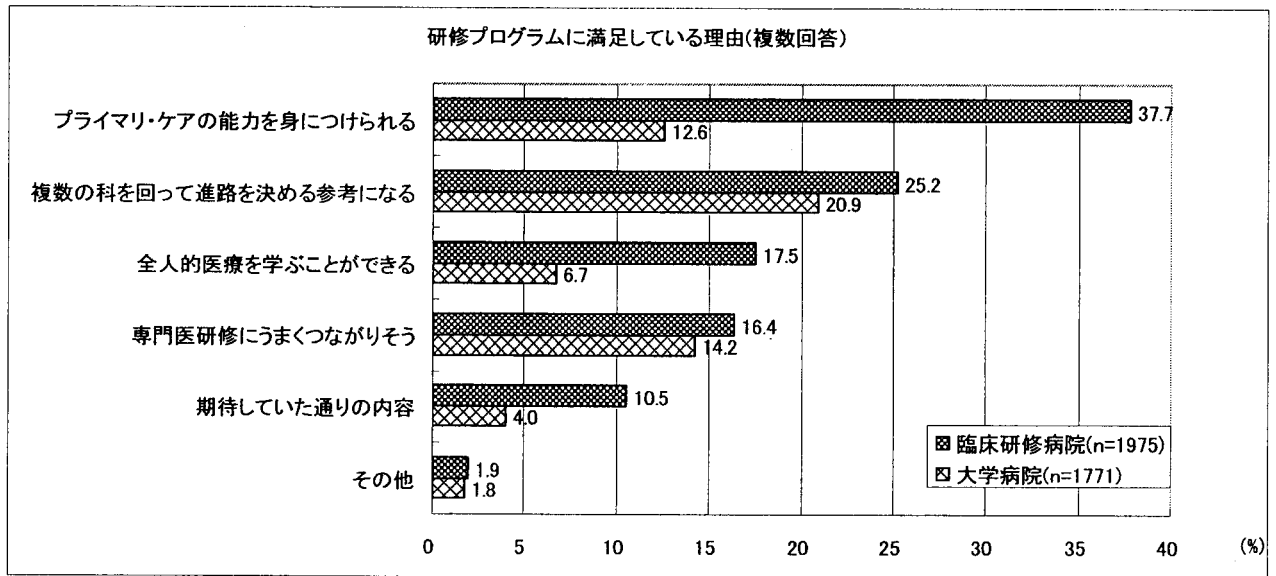
●平成16年度（臨床研修病院/大学病院）
研修プログラムについての満足度



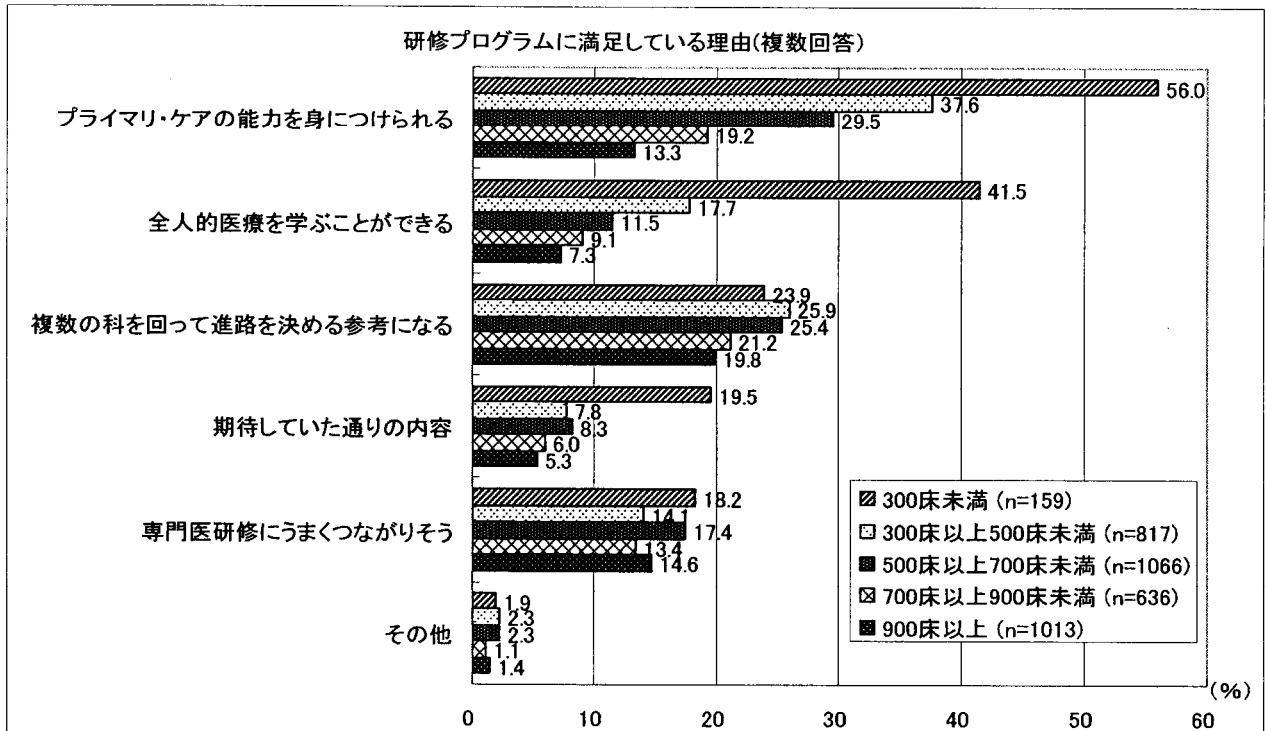
(4) 研修プログラムに満足している理由、満足していない理由

- 1) 研修プログラムに満足している理由は、臨床研修病院においては「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」(37.7%)、「複数の科を回って進路を決める参考になる」(25.2%)、大学病院においては「複数の科を回って進路を決める参考になる」(20.9%) 等が多い。また、特に 300 床未満の病院においては「プライマリ・ケアの能力を身につけられる」「全人的医療を学ぶことができる」が多い。

●平成 17 年度 研修プログラムに満足している理由 (臨床研修病院 / 大学病院)



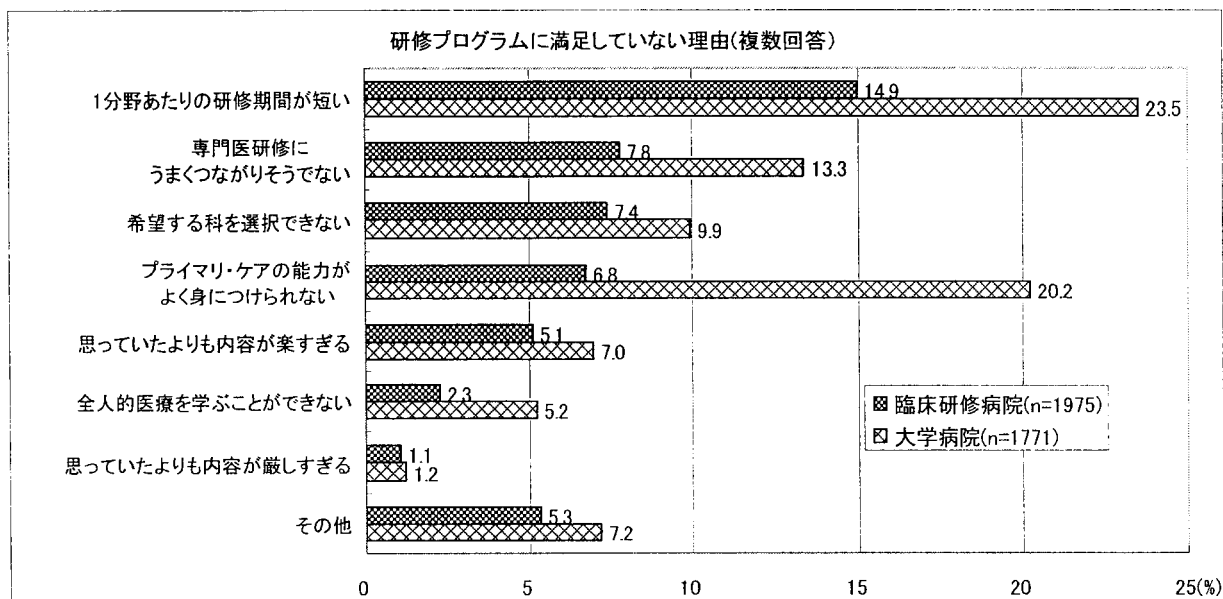
●平成 17 年度 研修プログラムに満足している理由 (病床規模別)



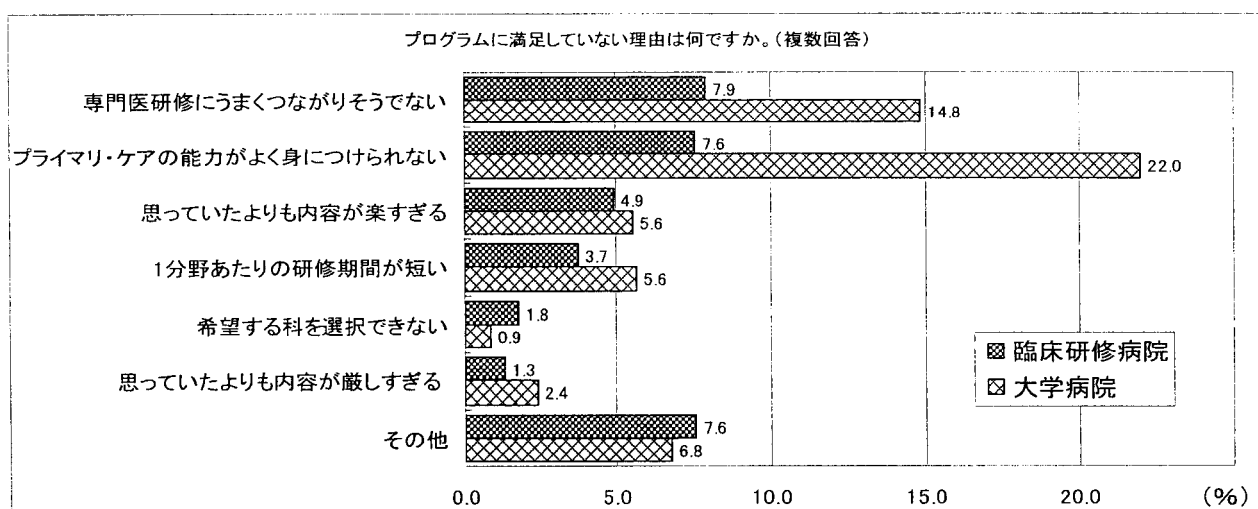
- 2) 研修プログラムに満足していない理由は、臨床研修病院においては「1分野あたりの研修期間が短い(14.9%)」、大学病院においては「1分野あたりの研修期間が短い(23.5%)」「プライマリ・ケアの能力がよく身につけられない(20.2%)」等が多い。

また、昨年(1年次研修医)と比べると、特に「1分野あたりの研修期間が短い」が増加している。

●平成17年度 研修プログラムに満足していない理由(臨床研修病院 / 大学病院)



●平成16年度 研修プログラムに満足していない理由(臨床研修病院 / 大学病院)

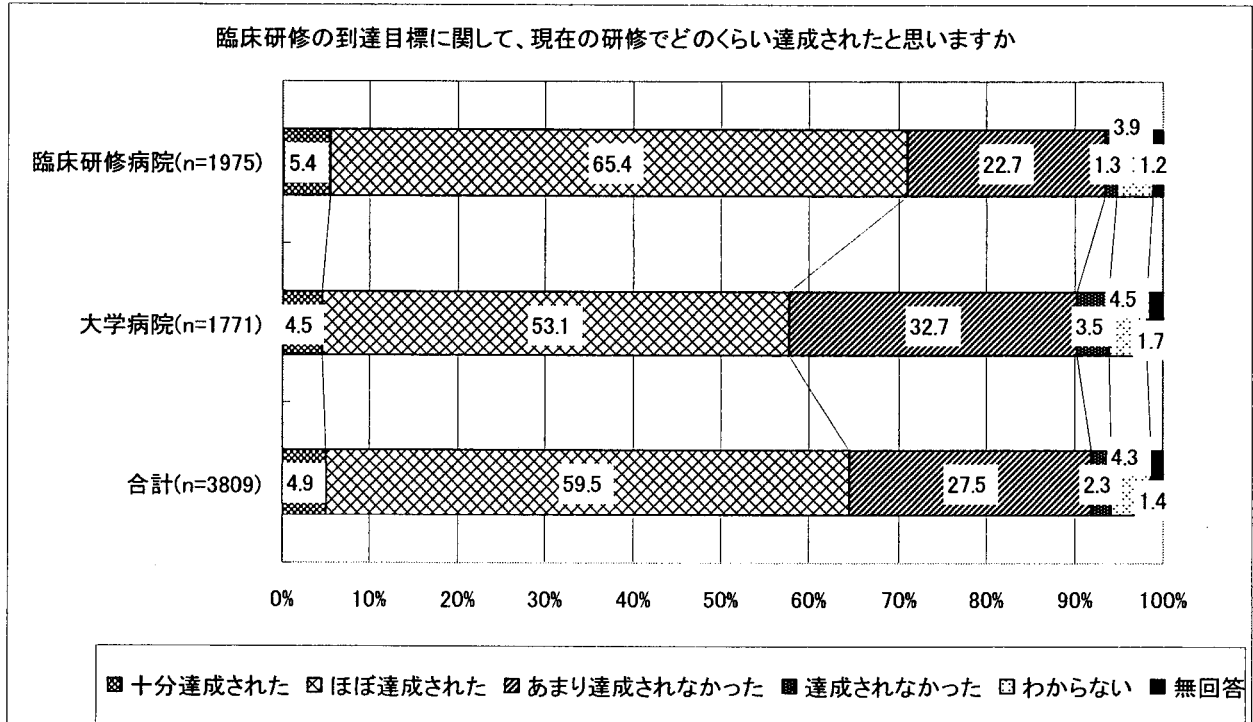


●研修体制に満足していない理由(平成16年度/平成17年度比較)

		平成16年度	平成17年度
1分野あたりの研修期間が短い	臨床研修病院	3.7%	14.9%
	大学病院	5.6%	23.5%

(3) 目標が十分、もしくはほぼ達成されたとした研修医の割合は、全体では 64.4%、臨床研修病院では 70.8%、大学病院では 57.6%であり、臨床研修病院の方が大学病院より高い。

●平成 17 年度 臨床研修の目標達成度（臨床研修病院 / 大学病院）



2. 臨床研修修了後の進路について

(1) 臨床研修修了後の研修・勤務先

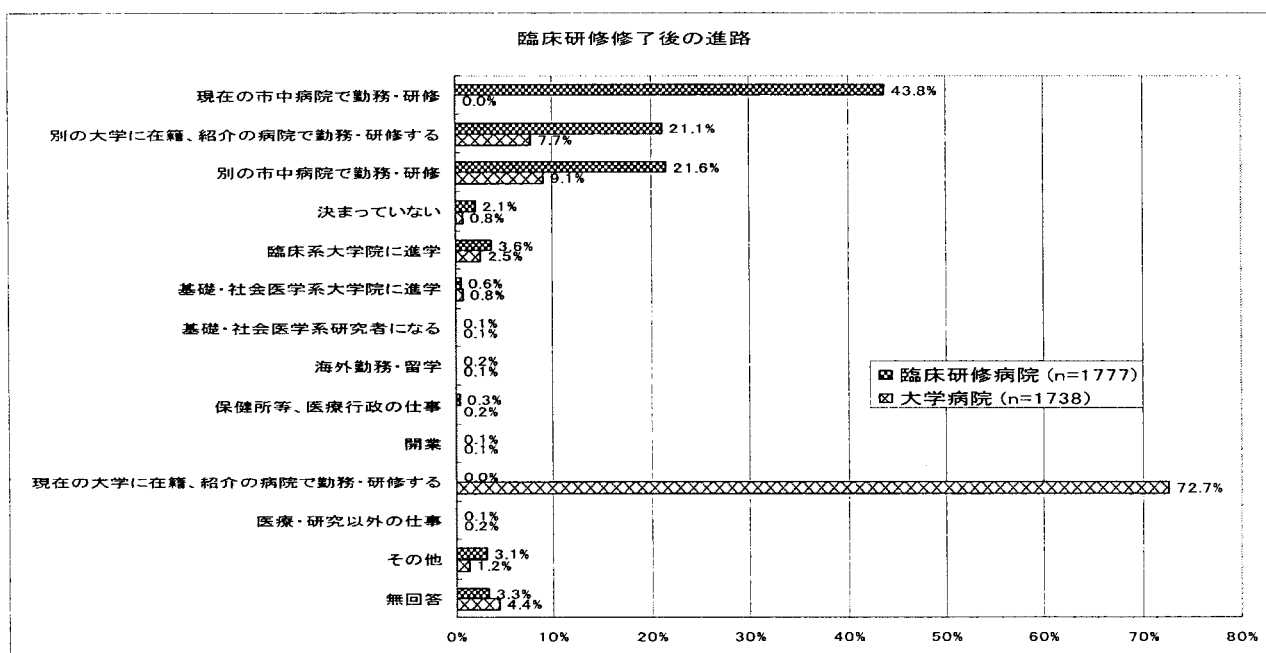
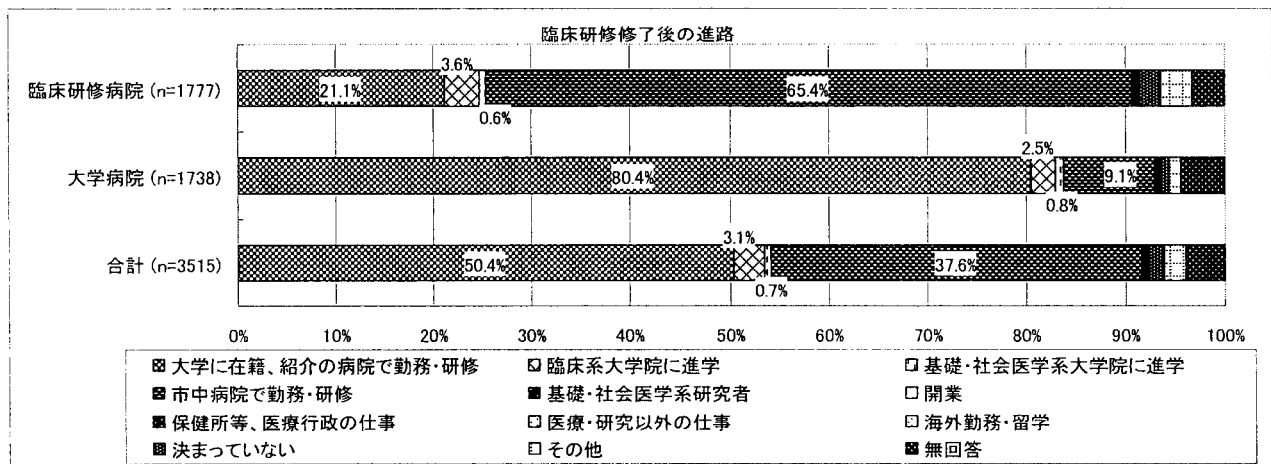
臨床研修修了後の進路は、大学病院で勤務・研修を行う者は50.4%（大学院を入れると54.2%）、市中病院で勤務・研修を行う者は37.6%であった。

大学病院で臨床研修を行った者において、臨床研修後に大学で勤務・研修を行う者の割合は80.4%（大学院を入れると83.7%）であった一方、臨床研修病院で研修を行った者における割合は21.1%（大学院を入れると25.3%）であった。

大学病院で臨床研修を行った者において、研修修了後に市中病院で勤務・研修を行う者の割合が9.1%であった一方、臨床研修病院で研修を行った者における割合は65.4%であった。

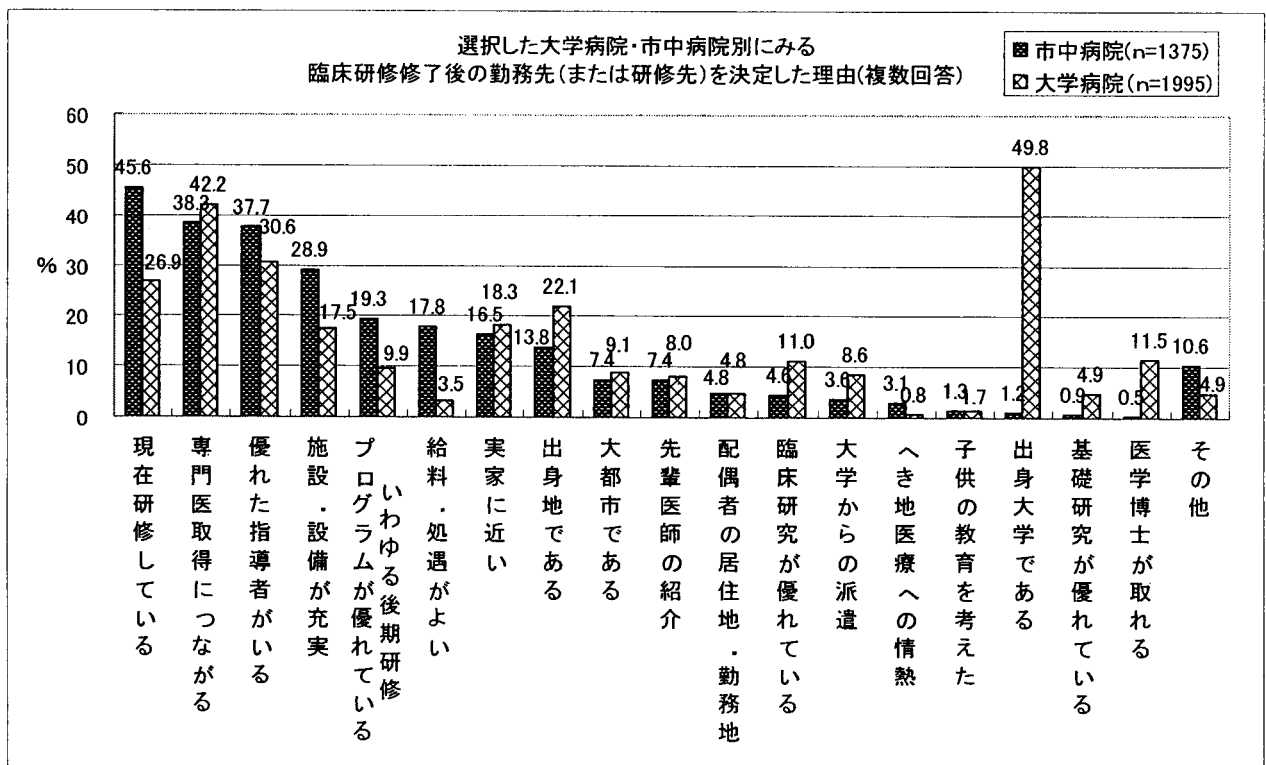
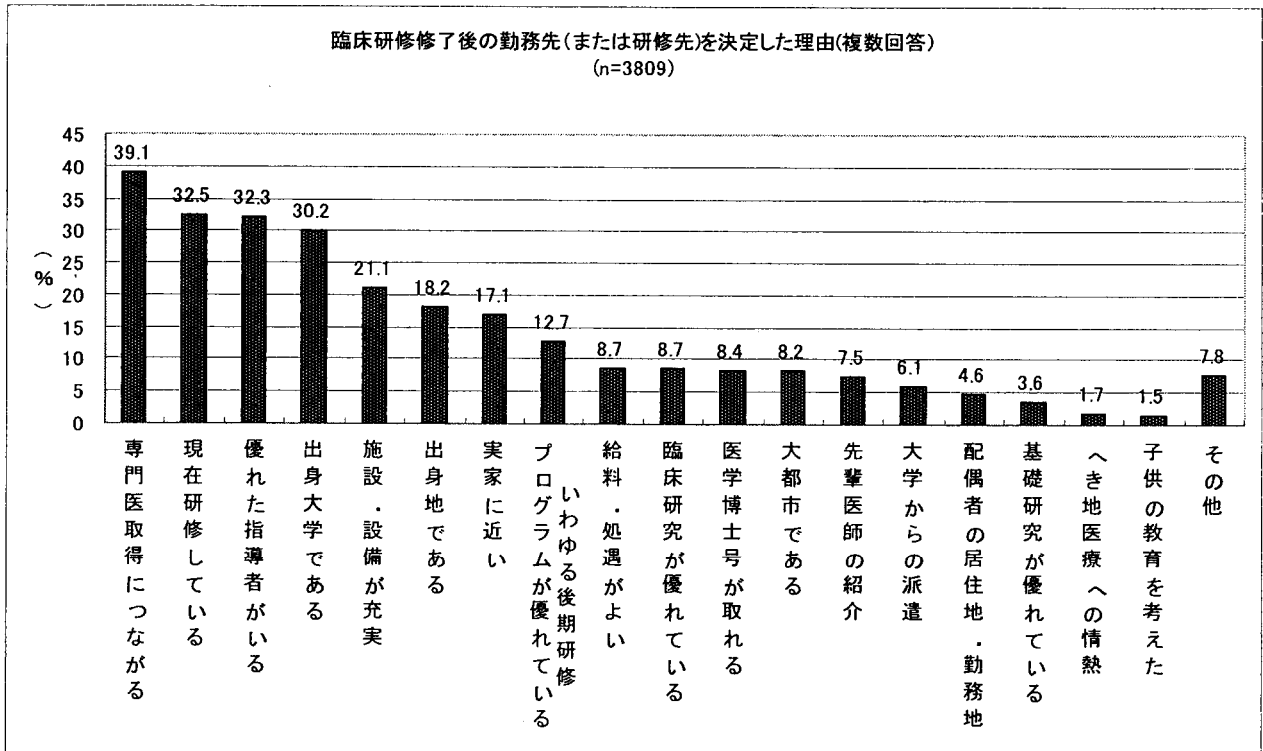
研修後も臨床研修を行った病院にて研修・勤務を引き続き行う傾向があり、特に大学病院ではその傾向が強い。

●臨床研修後の進路（臨床研修病院 / 大学病院）



(2) 研修修了後の研修・勤務先を決定した理由

臨床研修修了後の勤務・研修先を決定した理由では、全体では、「専門医取得につながる」(39.1%)、「現在研修している」(32.5%)、「優れた指導者がいる」(32.3%)、「出身大学である」(30.2%)等が上位を占めた。

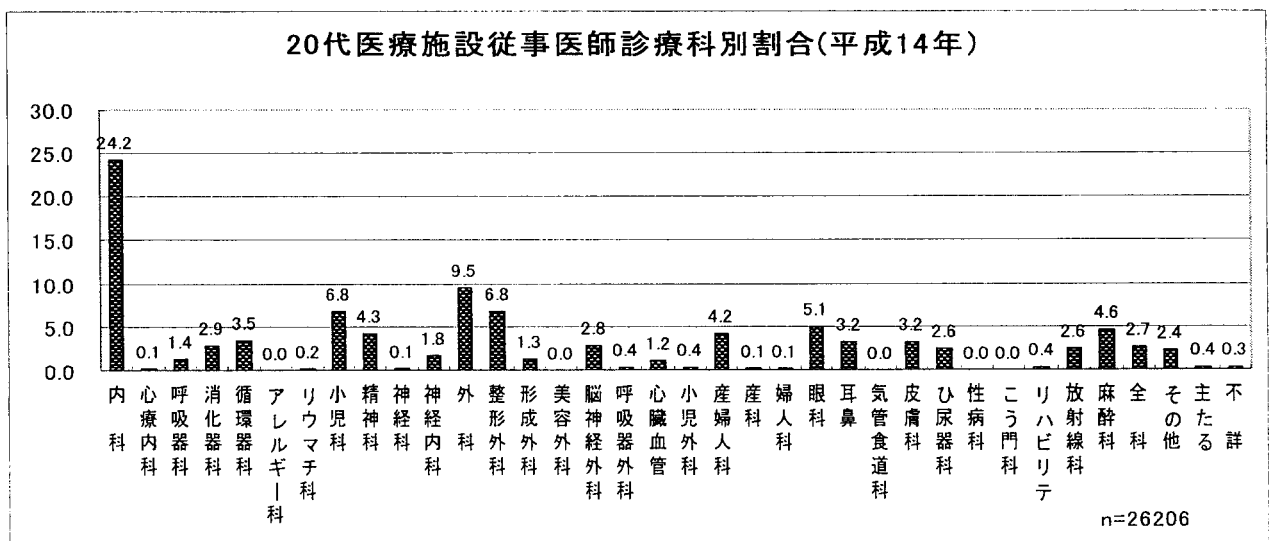


(3) 研修後に専門としたい診療科

専門とする診療科が決まっていると答えた 3298 人のうち、最も多い科は内科で 14.6%であった。また、小児科は 7.5%、産婦人科は 4.9%、麻酔科は 5.8%であった。小児科、産婦人科、麻酔科に関しては、20 代医療施設従事医師診療科別割合（平成 14 年）よりも高くなっている。

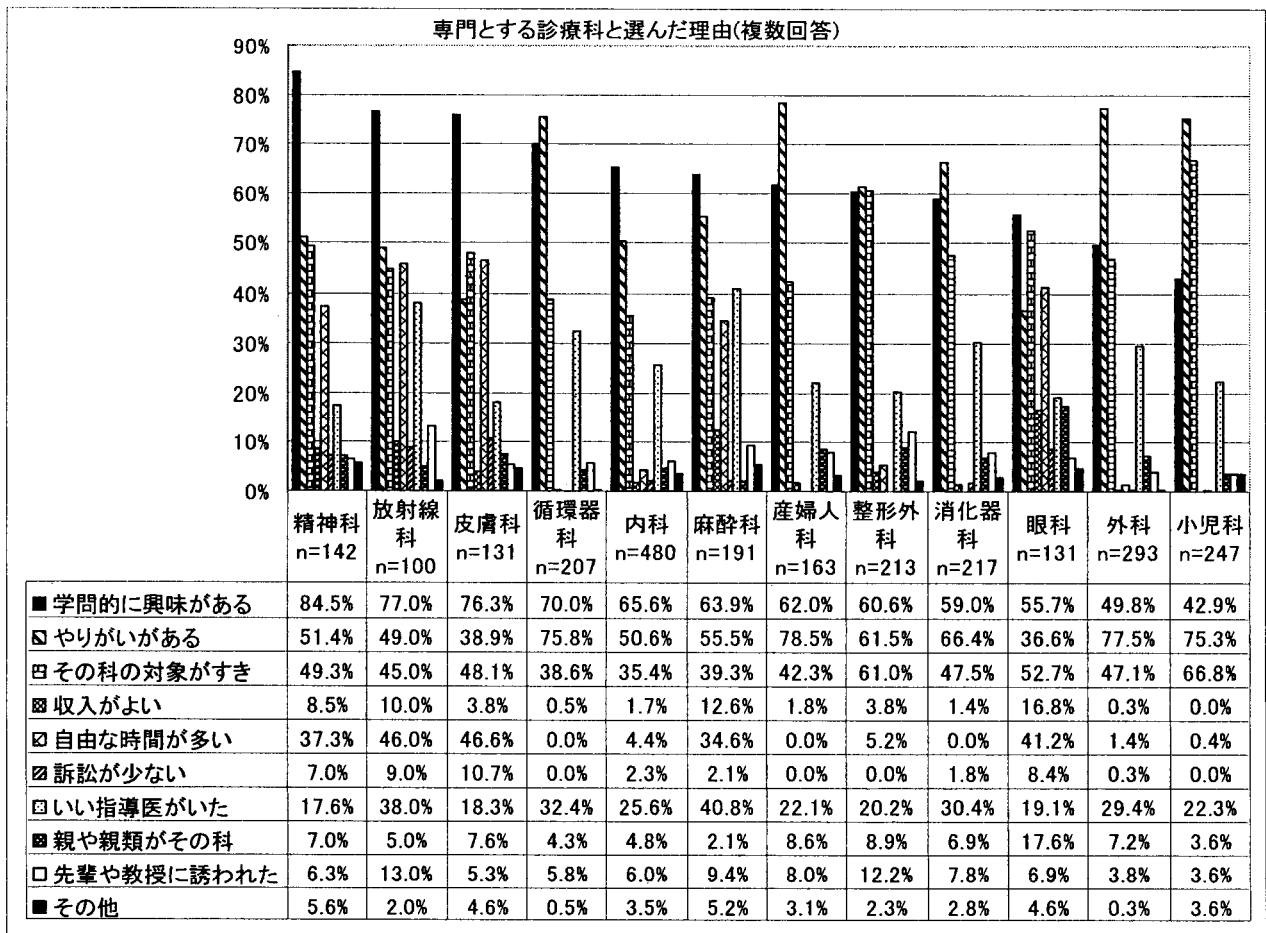
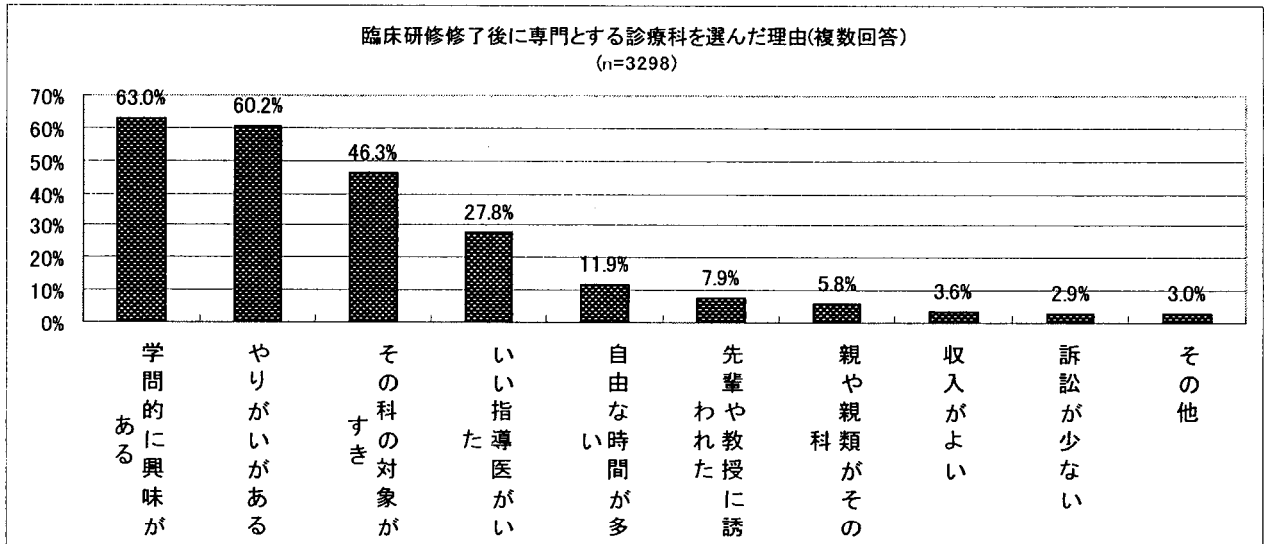
診療科	人数	割合			
内科	480	14.6%	脳神経外科	57	1.7%
外科	293	8.9%	心臓血管外科	46	1.4%
小児科	247	7.5%	総合診療科	25	0.8%
消化器科	217	6.6%	小児外科	16	0.5%
整形外科	213	6.5%	呼吸器外科	15	0.5%
循環器科	207	6.3%	リハビリテーション科	15	0.5%
麻酔科	191	5.8%	病理	15	0.5%
産婦人科	163	4.9%	基礎系	11	0.3%
精神科	142	4.3%	リウマチ科	8	0.2%
眼科	131	4.0%	心療内科	6	0.2%
皮膚科	131	4.0%	美容外科	6	0.2%
放射線科	100	3.0%	緩和ケア	5	0.2%
呼吸器科	92	2.8%	医療行政職	5	0.2%
泌尿器科	86	2.6%	アレルギー科	3	0.1%
耳鼻咽喉科	84	2.5%	その他	67	2.0%
形成外科	71	2.2%	無回答	18	0.5%
救命救急	70	2.1%	総計	3298	100.0%
神経内科	62	1.9%			

<参考>



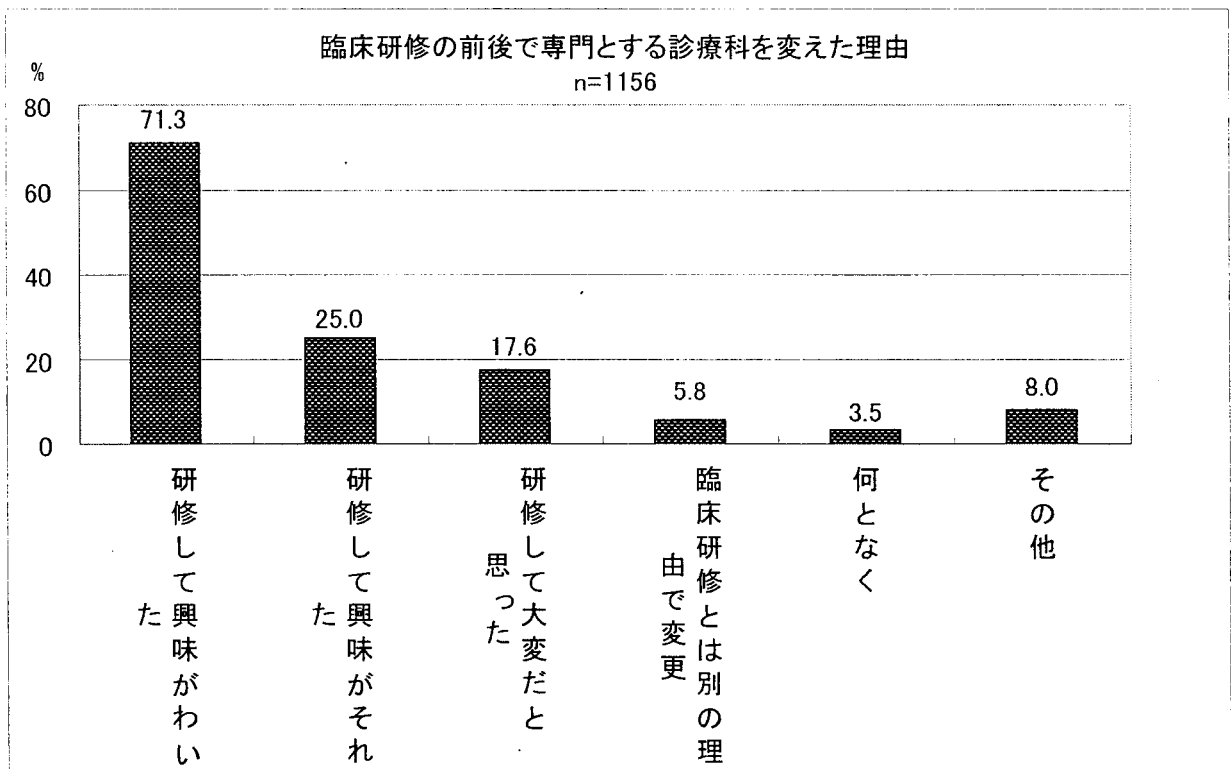
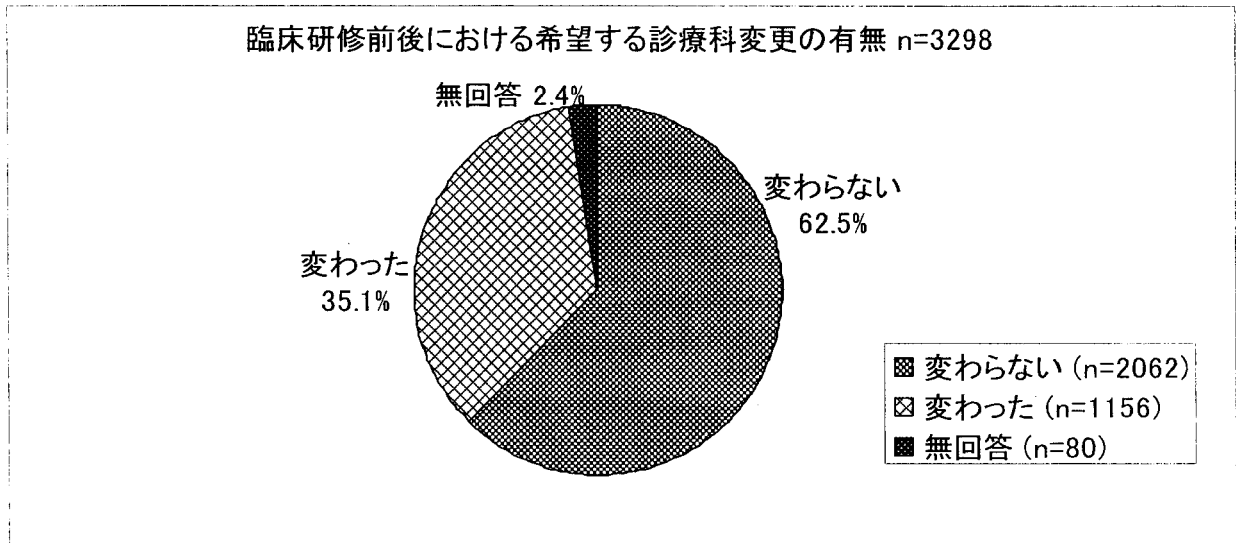
(4) 診療科を選んだ理由

「学問的に興味がある」(63.0%)、次いで、「やりがいがある」(60.2%)が多く、精神科、放射線科、皮膚科、循環器科では「学問的に興味がある」が70%以上となっており、産婦人科、外科、小児科、循環器科では「やりがいがある」が70%以上となっていた。



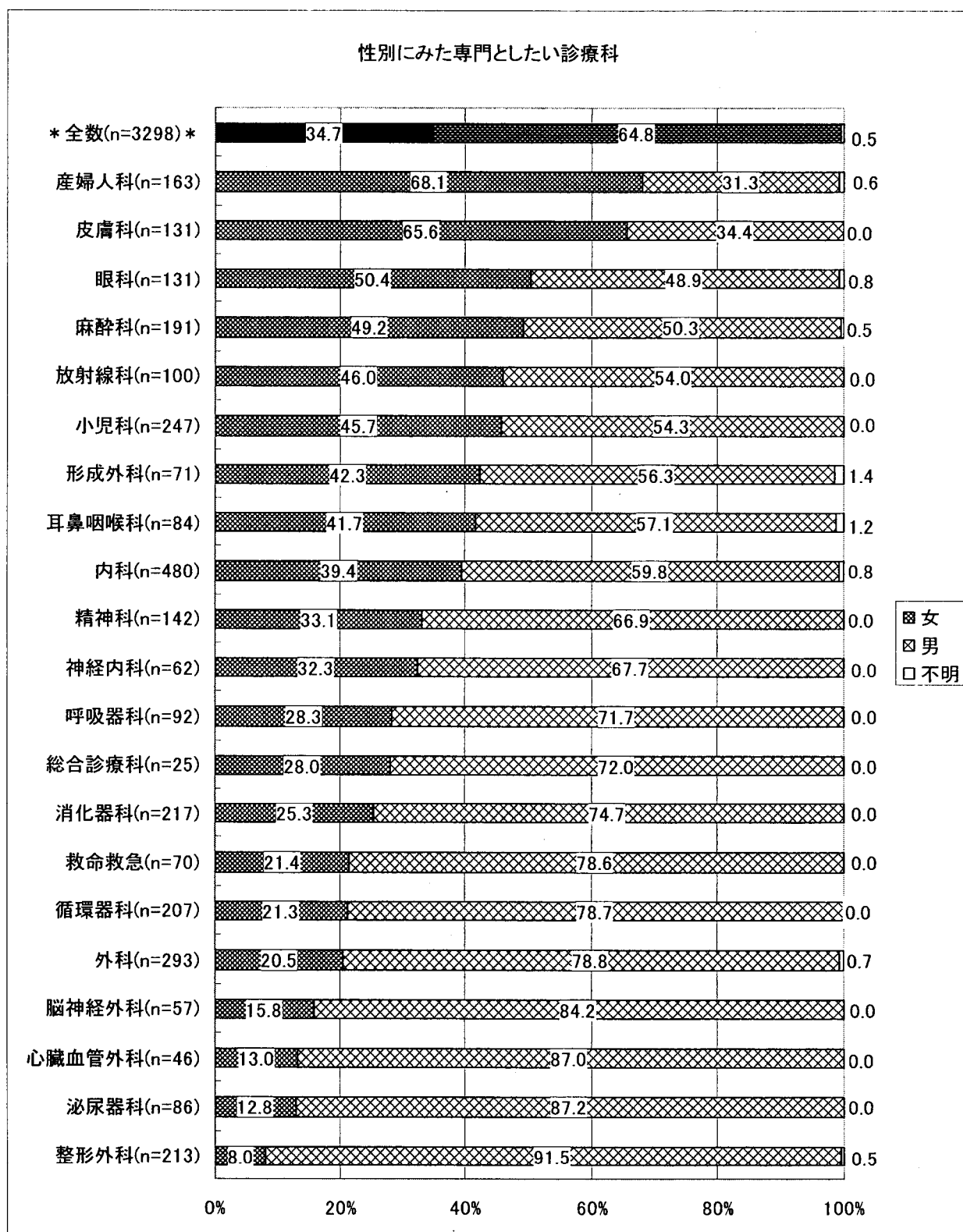
(5) 専門としたい診療科の変化と理由

臨床研修の前後で将来専門とする診療科を変えた研修医は、1156人(35.1%)であった。また、理由は「研修してみて興味があったから」(71.3%)が最も多く、「研修してみて大変だと思った」は17.6%であった。



(6) 性別にみた専門としたい診療科

女性医師の割合が高いのは、産婦人科（68.1%）皮膚科（65.6%）、眼科（50.4%）等であり、女性医師の割合が低いのは、整形外科（8.0%）、泌尿器科（12.8%）、心臓血管外科（13.0%）等であった。



(7) (診療科別) 臨床研修修了後の進路

大学病院で勤務・研修する割合が高い科は、形成外科、眼科、皮膚科等であり、市中病院で勤務・研修する割合が高い科は、総合診療科、外科、救命救急等であった。

